

資料44-2

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
(第44回)H30.11.29

金星探査機「あかつき」(PLANET-C)の
定常運用終了と
プロジェクト終了審査の結果について

2018年11月29日
宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所

プロジェクト事後評価と本資料の位置づけ



- 金星探査機「あかつき」(PLANET-C)のプロジェクト活動結果等について経営的視点から確認し、プロジェクト終了の妥当性を判断するために、平成30年8月にJAXAとしてプロジェクト終了審査を実施した。

審査項目は以下の通り：

1. 探査機の開発
 2. 探査機の軌道投入失敗への対応および軌道投入の再試行
 3. 探査機の観測運用
 4. 探査機による科学成果創出
- 本資料は、宇宙開発利用部会がプロジェクトの終了時に実施する「事後評価」に資するものであり、「宇宙開発利用部会における研究開発課題等の評価の進め方について」（平成29年5月9日宇宙開発利用部会決定）における基本的な考え方を踏まえ、JAXA自らが評価実施主体となって実施したプロジェクト終了審査の結果を報告する。

JAXAは、プロジェクトの企画立案と実施に責任を有する立場から、JAXA自らが評価実施主体となって評価を行うことを基本とする。これを踏まえ、宇宙開発利用部会では、JAXAが実施した評価の結果について、目的、目標、開発方針、開発計画、成果等についての調査審議を行う。

「宇宙開発利用部会における研究開発課題等の評価の進め方について」（平成29年5月9日改訂）

JAXA内審査とプロジェクトフェーズの関係



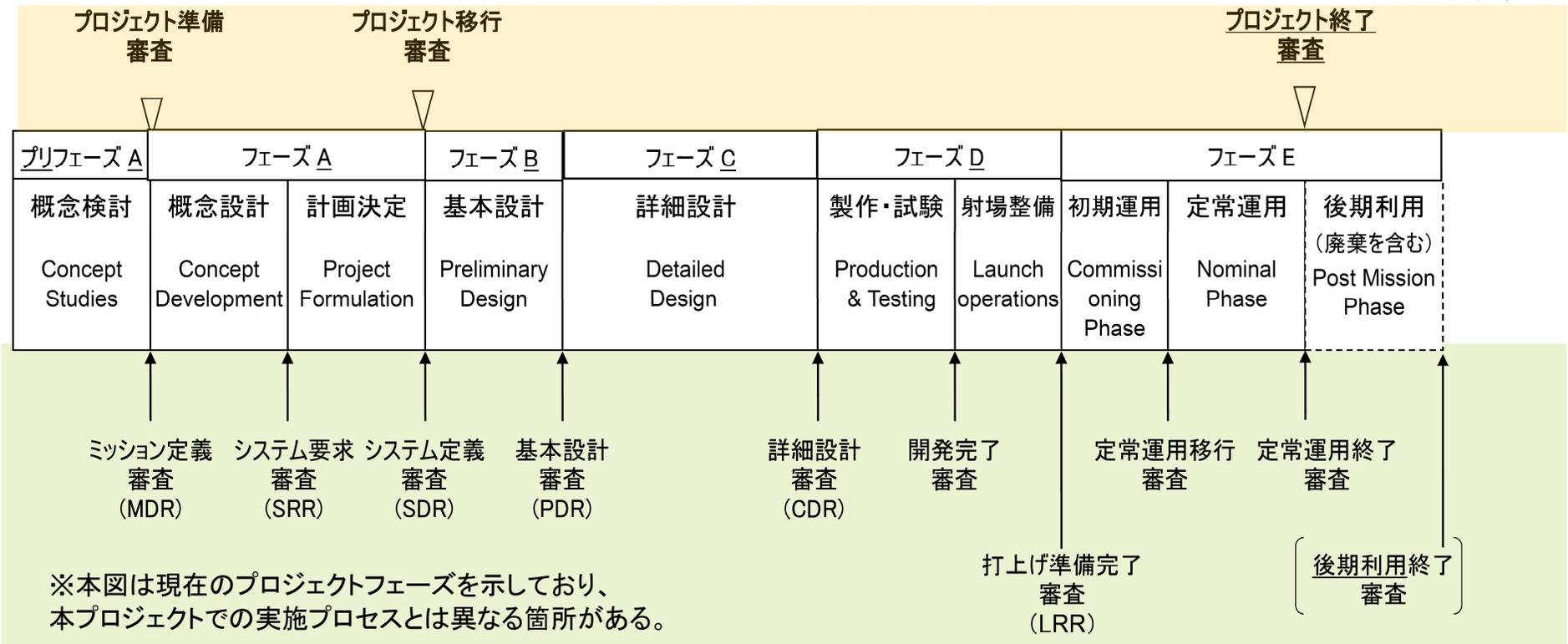
《事前評価》
 (宇宙開発委員会推進部会)
 平成18年8月31日



《事後評価》
 (今回)



経営審査



技術審査